

平成30年度 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表

(様式1)

整理 番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費(百万円)				再評価 対象 区分
						事業 採択	着工 年度	完了 予定	経過 年数			H30 事業費	左記のうち 道費	累計事業費	進捗率(%)	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

※「評価対象区分」欄には、半角数字「1」（国の要件等に該当）、半角数字「2」（大幅な変更が発生）、半角数字「3」（その他必要）を記入下さい。

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（H,Sは不用）を記入下さい。

平成30年度 公共事業再評価調書

基準年月日 平成30年8月1日

調書番号	所管部		作成責任者 担当グループ										
I 基本事項 (基準日時点)													
事業種別			地区名	市町村名									
事業費	百万円	負担割合	国	道 市町村 その他									
事業目的 ・目標	【アウトカム】 等		事業概要	(百万円)									
			工事費内訳										
総合計画での 位置付け	施策名			総合計画：大項目									
	総合計画：中項目			総合計画：小項目									
	施策目標			関連する指標									
II 計画変更 (単位：百万円)													
事業 期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過 年数	事業 費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)		
	当初												
	変更①												
	変更②											#DIV/0!	
変更理由・内容													
III 事業着手前の状況													
1.事業着手に至る経過と背景													
2.事業検討の際の 手続き (住民への把握等)													
3.事業が効果を及ぼす地域・対象													
4.関連する事業		事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容							
IV 事業の実施状況													
1.進捗状況		(1) 事業計画及び実績											
		施工(工種)区分	工事内容									進捗状況	事業費(百万円)
		a : 概ね予定どおり実施している b : 事業計画(期間)等を変更し実施する。 c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている											

	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		B/C	備考
	項目	現在	項目	現在	現在	
2.事業効果					/	
	合計（B）		合計（C）			
3.コスト削減 などの取組み	取組の項目	取組内容			縮減額（百万円）	
V 評価						
1.必要性						
		a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある				
2.事業を推進する 上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
	(3) その他の課題					
3.事業達成の 見込み						
		a：十分達成が見込まれる b：課題はあるものの達成は可能である c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される				
4.対処方針						
		a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	事業期間の変更の有無		事業費の変更の有無		事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 左記以外の変更
VI 備考						
1.評価履歴	事前評価：	年度実施	評価結果：			
	再評価：	年度実施	評価結果：			
2.その他の 取組み事項						

補足資料

II 計画変更

(単位：百万円)

事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	当初										
変更①											
変更②											
変更③											
変更④											#DIV/0!
変更理由・内容											

記入例

平成30年度 公共事業再評価調査

(様式3)

基準年月日 平成30年8月1日

調書番号	〇〇-〇〇	所管部	〇〇部	作成責任者 担当グループ	〇〇部〇〇局〇〇課長 道庁 太郎 〇〇G(内)12-345															
事業種別	〇〇〇〇事業費			地区名	〇〇地区															
事業費	百万円	負担割合	国 50%	道 25%	市町村 20%	その他 5%														
	5,000		250百万円	125百万円	100百万円	25百万円														
事業目的・目標	<p>●合併に伴う地域支援策として、〇地区と〇地区の交通不能区間を解消し、移動時間〇〇分の短縮を行い地域連携の強化や緊急医療・避難に対処する。</p> <p>●S60から浸水被害が頻発し地域経済や農業生産に多大な損害が発生。堤防新設により浸水被害を防止。</p> <p>●土壌不良による排水不良により生産性・作業効率が高く品質格差が発生。農地機能改善、品質格差の解消、経営安定化のため区画整理と土層改良を実施</p> <p>【アウトカム】等</p> <p>●事業実施前(H〇〇)の担い手農地利用集積率(受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合)は、〇〇%だが、農家戸数の減少に伴い、このまま基盤整備を行わない場合は、H〇〇年に〇〇%まで低下すると推定される。</p> <p>しかし、本事業を実施することにより事業完了翌年(H〇〇)に〇〇%の高水準を維持することが可能となる。</p> <p>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 〇〇戸→〇戸</p> <p>※可能な限り数値化し、事業効果を容易に確認できるようわかりやすく記載すること。</p>			<p>事業概要</p> <p>〇〇線は〇〇と〇〇とを結び延長〇〇kmの路線で、〇〇の役割(機能)を担う重要な路線である。この内本地区は、〇〇から△△に至る区間であり、急カーブ2箇所の改良、老朽化した〇〇橋の6mから8、5mへの拡幅を伴う架換えを行うものである。</p>																
	<p>工事費内訳</p> <p>【現況】延長L=2km、幅員W=0.5+5.0+0.5m、最急勾配8% (百万円)</p> <p>【計画】延長L=1.2km幅員W=1.25+6.0+1.25m、最急勾配5%</p> <p>築堤工 L=1.0km 頭首工 3基 160</p> <p>区画整理 A=5ha 土層改良 3ha 100</p> <p>林道開通事業 L=0.5km 50</p> <p>道路改良工 L=1.2km 橋梁工 1基 150</p> <p>測量試験費 10</p> <p>用地補償費 3件、500㎡ 30</p>																			
総合計画での位置付け	施策名	大規模自然災害対策の推進			総合計画：大項目	生活・安心、〇〇														
	総合計画：中項目	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮、〇〇			総合計画：小項目	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服、〇〇														
施策目標	道民の安全・安心を確保するため、災害が発生した河川や災害危険度の高い河川において、自然豊かな水辺環境に配慮しながら、治水対策を推進する。			関連する指標	河川改修が必要な区間に対する一定の降雨による浸水被害を防止できる区間の割合(%) 基準値43.3% → 最終目標値45.1%															
事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費														
	当初	H15	H16	H22		総事業費(a)														
	変更①			H17	H30	道負担額														
	変更②			H26	H32	15														
変更理由・内容	<p>変更①：H17年の集中豪雨により現河川堤防が決壊。流下能力増加のため、河道掘削(本河川)を実施。前年度補正予算の繰り越し分で、当年度執行。</p> <p>変更②：直轄灌漑排水事業計画の変更にとともに、区画割を見直すとともに、新たな区画割を実施する。</p>																			
1.事業着手に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S〇〇年〇〇月 浸水被害が発生(床上浸水〇〇戸、床下浸水〇〇戸、農地被害〇〇ha、被害合計〇〇億円) ● S〇〇年〇〇月 小雨により〇〇川からの取水が不能。水道給水が〇〇日間ストップ ● H〇〇年〇〇月 〇号台風により〇〇地区の道路通行が不能(〇〇日間、影響人員〇〇人、経済損失〇〇億円) ● H〇〇年～ 用排水路の老朽化により用水が不足し農業障害が発生 ● H〇〇年～ 高齢化による離農跡地分散所有の非効率解消のため区画整理が必要となる。 ● H〇〇年～ 幅員狭小や路面泥粘化により作物輸送中の品質劣化が頻発 																			
	<p>2.事業検討の際の 手続き (住民への把握等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● S〇〇年〇〇月 〇〇法に基づく指定、〇〇に関する認定、〇〇法に基づく公告・縦覧 ● H〇〇年〇〇月 〇〇地区整備促進期成会の結成、道に〇〇地区の整備要望 ● H〇〇年〇〇月 地元住民への説明会の開催、関係受益者の同意書及び〇〇市町の意見書提出 ● H〇〇年〇〇月 関連事業者連携会議を設置 ● H〇〇年〇〇月 環境アセスメントの実施 ● H〇〇年〇〇月 〇〇事業着手 																			
3.事業が効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 〇〇地区と緊急医療施設(口病院)間の移動時間を短縮し緊急医療を支援、〇〇地震発生時の緊急避難路の確保 ● 〇〇地区と〇〇地区間の冬季通行不能区間解消、〇〇地区観光の支援 ● 〇〇地区の中心市街地及び周辺農地 氾濫防止面積〇〇ha、浸水防止戸数 〇〇〇戸 ● 〇〇市の水道用水の供給 給水人口〇〇〇〇人 〇〇〇m³/日 流水の正常な機能維持、不特定容量の確保 ● 〇〇市受益面積〇〇〇ha 受益戸数〇〇〇〇〇人 ● 〇〇海岸 防護区間 〇〇〇〇m 防護面積 〇〇〇〇ha 防護戸数 〇〇〇〇戸 ● 〇〇市の森林所有者及び周辺の林業事業者 ● 〇〇地区森林の水涵養、土砂流失防止等の公益的な機能の確保 																			
	<p>4.関連する事業</p> <table border="1"> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> <tr> <td>直轄治山事業〇〇地区</td> <td>北海道開発局</td> <td>H〇～H〇〇</td> <td>25,000</td> <td>〇〇地区の土石流防止事業</td> </tr> <tr> <td>〇〇市〇〇開発事業</td> <td>〇〇市</td> <td>H〇～H〇〇</td> <td>200</td> <td>〇〇地区中心市街地活性化事業</td> </tr> </table>						事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容	直轄治山事業〇〇地区	北海道開発局	H〇～H〇〇	25,000	〇〇地区の土石流防止事業	〇〇市〇〇開発事業	〇〇市	H〇～H〇〇	200
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容																
直轄治山事業〇〇地区	北海道開発局	H〇～H〇〇	25,000	〇〇地区の土石流防止事業																
〇〇市〇〇開発事業	〇〇市	H〇～H〇〇	200	〇〇地区中心市街地活性化事業																
1.進捗状況	(1) 事業計画及び実績(変更)																			
	施工(工種)区分	工事内容	15	16	17	27	28	29	30	31	32	33	進捗状況	事業費(百万円)						
	〇〇工事	L=〇m W=〇m						L=〇m		L=〇m			75%	160						
	〇〇〇工	〇箇所					N=〇箇所		N=〇箇所				50%	70						
	〇〇工	〇基							N=〇基				0%	80						
	〇〇橋梁	橋長〇〇〇m											100%	50						
	付け替え道路	L=〇m W=〇m						L=〇m					100%	100						
	測量試験費	環境調査・地質調査												100%	10					
	用地補償費	用地買収・物件補償							N=〇件		N=〇件			90%	30					
	(2) 進捗状況																			
<p>用地補償に伴う相続手続きに時間を要しているため、事業期間の変更を行った。 〇〇の計画変更に伴い事業計画の変更区間が発生。変更に影響のない箇所の工事を実施中。</p>																				
b	a：概ね予定どおり実施している																			
	b：事業計画(期間)等を変更し実施する。																			
	c：問題が生じ、実施に支障をきたしている																			

	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C	備考
	項目	H30現在	項目	H30現在	H30現在	
2.事業効果	〇〇改善効果	200	事業費	420	/	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇費用便益マニュアル(〇〇省H20年)」に基づき算出 ・便益、費用ともにH30年に現在価値化 ・費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
	〇〇向上効果	120	維持管理費	60		
	〇〇便益	100				
	〇〇防止効果	300				
	合計(B)	720	合計(C)	480	1.95	
	※B/Cに依らない場合や国などの費用便益マニュアルによる便益以外の効果等がある場合は、必要に応じて記載してください。 ※B/Cが前回評価時から変更となる場合は、前回評価年度及びB/Cを記載し、変更理由を記載してください。 前回再評価年度 : H25年度 前回再評価時B/C : 2.2 変更理由 : 〇〇を見直したことで事業費が増加のため					
3.コスト縮減などの取組み	取組の項目	取組内容			縮減額(百万円)	
	資源循環の促進	〇〇再利用によりコストを下げ、かつ産業廃棄物発生を抑制			50百万円	
	代替案の比較	計画構想段階で代替案(〇〇工法)を比較。再安価である現工法を採用。			200百万円	
	発注計画の最適化	早期発注及び適切な工期設定を行い、冬季割増し等のコスト増を抑制			20百万円	
	単価等積算の見直し	〇〇資材を標準タイプからロングタイプに見直し、コスト縮減			5百万円	
1.必要性	H〇年度に都市計画審議会を開催。人口推計や都市施設整備構想について了承。事業の必要性に変化はなく事業を継続して推進。					
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある				
2.事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ● 〇〇地区に口湿原(国立公園普通地域)が隣接。環境調査と専門家の意見を聴取し事業を実施。 ● えぞ〇〇草の生育地域に隣接。外来種の侵入を防ぐため、〇〇工法を採用しており、若干コストが割増。 ※ 再評価(H〇〇年)以降の状況変化はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の環境問題が発生し、〇〇を実施して対処した。					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
3.事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業着手以降毎年、〇〇地区開発期会を通じて整備促進の要望が行われている。 ● 〇〇の住民説明会で提案された〇〇について取り組んだ。 ※ 再評価(H〇〇年)以降の状況変化はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の要望が新たに生じ、〇〇を実施して対処する予定。(今回の計画変更で反映)					
	(3) その他の課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の〇〇促進計画に対応し、〇〇を実施中。 ● 〇〇の自然災害が発生し、一部被災を受けたため、事業進捗が〇年遅れる見込み ● 受益者の一部から当該事業計画の部分的変更について検討しているとの情報有り。 ※ 再評価(H〇〇年)以降の新たな課題発生はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇施策が新たに策定され、〇〇を実施。					
4.対処方針	用地補償に伴う相続手続きに時間を要しているが、年内には手続き完了する予定。関連事業の計画変更に伴い事業計画の変更区間が発生。変更に影響のない箇所の工事を実施中。					
	b	a : 十分達成が見込まれる b : 課題はあるものの達成は可能である c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される				
1.評価履歴	事前評価 : 〇〇年度実施 評価結果 : B/C : 〇〇 再評価 : 平成25年度実施 評価結果 : 継続(変更なし) B/C : 1.85					
	付帯意見等、審議に必要と思われる事項を記載					
2.その他の取組み事項	「〇〇について変更があった場合には専門委員会に報告すること。」とする付帯意見を専門委員会からいただいた。知事評価においても同様の趣旨の意見を付された。					
	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地発生の上石をアーチ状に配置し流路を整成。(〇〇専門委員のアドバイス) ● 水路の草刈りやゴミ拾いを、住民協働で実施。(〇〇地区連合町内会の協力) ● 自然災害の恐ろしさや備えの大切さについて、小学生を対象に講習会を開催(〇〇市教育委員会と連携) ● 〇〇地区の景観形成を支援するため道路法面に〇〇を植栽(植栽は〇〇地区町内会の協働で実施) ● 事業費負担割合のその他には、〇〇事業による道負担分(〇%〇〇百万円)が含まれる。 					

補足資料

事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)		
	当初	H15	H16	H22				300	75				
	変更①			H15			H22	310	80				
	変更②			H16			H24	310	80				
	変更③			H17			H30	400	100				
変更④			H26	H32	13	500	125	50	300	60%			
変更理由・内容		変更①：事業費の精査による事業費変更。 変更②：用地取得及び物件補償の難航による事業期間の延長。 変更③：H17年の集中豪雨により現河川堤防が決壊。流下能力増加のため、河道掘削を追加。 変更④：直轄灌漑排水事業計画の変更にともない、区画割を見直すとともに、新たな区画整理を追加。											

平成30年度 公共事業再評価調書

基準年月日 平成30年8月1日

調書番号	所管部	作成責任者 担当グループ										
I 基本事項 (基準日時点)												
事業種別		地区名	市町村名									
事業費	百万円 負担割合	国	道	市町村 其他								
事業目的・目標	再評価年に計画変更などで、事業費が変更となる場合の、事業内容や事業費の記載例											
	【アウトカム】等	工事費内訳	築堤工 L=1.0km→1.2km 区画整理 A=5ha→8ha 林道開設事業 L=0.5km 道路改良工 L=1.2km→1.5km 測量試験費 用地補償費 3件、500㎡	頭首工 3基→4基 土層改良 3ha 橋梁工 1基 (百万円) 変更前 160 (百万円) 変更後 180 100 150 50 50 150 160 10 10 30 30								
総合計画での位置付け	施策名	総合計画：大項目										
	総合計画：中項目	総合計画：小項目										
	施策目標	関連する指標										
II 計画変更 (単位：百万円)												
事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
	当初											
	変更①											
	変更②										#DIV/0!	
変更理由・内容												
III 事業着手前の状況												
1.事業着手に至る経過と背景												
2.事業検討の際の 手続き (住民への把握等)												
3.事業が効果を及ぼす地域・対象												
4.関連する事業		事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容						
IV 事業の実施状況												
(1) 事業計画及び実績												
1.進捗状況	施工(工種)区分	工事内容									進捗状況	事業費(百万円)
(2) 進捗状況												
b		a : 概ね予定どおり実施している b : 事業計画(期間)の変更し実施する。 c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている										

事業費に10億円以上の増減が生じた地区（既再評価実施地区を除く）

（細目様式1）

（平成30年度公共事業再評価実施細目に基づく報告）

上段：旧事業計画

下段：新事業計画

所管部 事業名 地区名	事業概要	事業費（百万円）			事業期間			再評価		変更理由及び増減額の内訳	変更事業の発生と対応経過	備考
		総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 着手	建設 着手	完了 予定	実施 年	実施 予定			
A部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=100m □□工 20箇所	3,500		1,750 (50%)	H16	H16	H27	H26	H31	H29年8月に15号台風が発生し〇〇施設が被災。その災害復旧を行うとともに、〇〇施設を防護するため、新たに□□工5箇所（ 300百万円増 ）と、△△工 ^{※2} を追加（ 700百万円増 ）する必要が生じた。	H29年8月：台風15号による被災 H29年8月：現地調査設計 H29年9月：災害復旧申請 ^{※1} H29年10月：□□工と△△工を追加	※1：〇〇災害法上の手続き ※2：〇〇に有効な代替案A案・B案を検討
	〇〇工 L=100m □□工 25箇所 △△工 10箇所	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H16	H16	H35					
B部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=200m 捨土 V=10,000m ³	3,500		1,750 (50%)	H16	H16	H27	H26	H31	・H29年5月にボーリング調査。想定より地盤が悪いことが判明。△△工を追加し〇〇の安定を図る。（ 400百万円増 ） ・H29年5月に掘削土砂から重金属を検出。土砂を産業廃棄物処理する必要が生じた。（ 300百万円増 ） ・H29年6月に工区内にオオワン ^{※4} の営業が発生。保護のため一部ルートを変更（ 300百万円増 ）	H29年5月：ボーリング調査 H29年6月：対策工法検討 H29年7月：経済比較し△△工を選択 ^{※1} H29年5月：掘削土砂の成分分析 H29年6月：基準超過含有を確認 ^{※2} H29年6月：産業廃棄物処理開始	※1：代替案A案・B案を検討 ※2：ヒ素xmg/kgを検出(>30mg/kg) ※3：生物・環境に関する学識経験者で構成 ※4：絶滅危惧種
	〇〇工 L=250m △△工 A=100m ² 産業廃棄物処理V=10,000m ³	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H16	H16	H34					
<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「事業費に10億円以上の増減が生じた地区報告様式」に以下の項目等の内容説明を記載。 <ul style="list-style-type: none"> a 事業概要（上下2段で、旧事業計画と新事業計画を比較）。 b 変更理由説明を充実するとともに、事業費増減の内訳を明記。 c 変更事業の発生と対応経過を時系列整理。 d 備考欄には、変更事業の補足説明を加える。 												

平成30年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

（細目様式2）

整理 番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地 区 名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費 (百万円)				H31事業予定内容			備考
						事業 採択	着工 年度	完了 予定	経過 年数			H30 事業費	左記のうち 道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内 容	事業費 (百万円)	
1																			
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（H.Sは不用）を記入下さい。

平成30年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

（細目様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費 (百万円)				H31事業予定内容			備考
						事業 採択	着工 年度	完了 予定	経過 年数			H30 事業費	左記のうち 道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内 容	事業費 (百万円)	
1	A部			〇〇地区	××市	H24	H24	H30	5	〇〇工 □□工 ▲▲工 ●●工 測量試験費 用地補償費	2,000	300	150	1,800	90.0	本工事費 測量試験費 用地補償費	〇〇工 〇〇 ◇◇ ◆◆	160 20 20	
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（H.Sは不用）を記入下さい。

事業費が概ね90%以上又は主要工事が完了している地区

(細目様式3)
(平成 年 月 日時点)

所管部 事業名 地区名 市町村名	事業目的・概要	事業費(百万円)			事業期間(下段当初)			計画変更(直近2回)		事業実績及び進捗状況														備考											
		総事業費 上段 現在 下段 当初	うち道費 負担額	進捗率	事業 着手	建設 着手	完了 予定	変更① ・変更年度 ・変更概要等	変更② ・変更年度 ・変更概要等	工事内容等	15	16	17	18	～	29	30	31	32	進捗 状況	事業費 (百万 円)	残事業費 (百万 円)													
〇〇部 〇〇〇 〇〇 事業費 〇〇 地区 □□市	合併に伴う地域支援策として、〇地区と□地区の交通不能区間を解消し、移動時間〇〇分の短縮を行い地域連携の強化や緊急医療・緊急避難に対処するものである。 〇〇線は〇〇と〇〇とを結ぶ延長〇〇kmの路線で、〇〇の役割(機能)を担う重要な路線である。この内本地区は、〇〇から△△に至る区間であり、急カーブ2箇所の改良、老朽化した〇〇橋の6mから8.5mへの拡幅を伴う架換えを行うものである。	500 300	125 75	92%	H15	H15	H32 H19	H17 ・完了年度をH22に変更 ・H17の豪雨により堤防が決壊、流下能力増加のため河道掘削を増加し事業費400百万円に変更	H22 ・完了年度をH32に変更 ・直轄灌漑排水事業が変更され、区画割りを見直し、区画整理の追加し事業費500百万円に変更	〇〇工事L=〇m W=〇m										L=〇m			90%	140	14										
										〇〇工〇箇所																		N=〇箇所			90%	70	7		
										〇〇工〇基																			N=〇基			80%	80	16	
										〇〇橋梁橋長〇〇〇m																			N=〇基			100%	50	0	
										付け替え道路L=〇m W=〇m																			L=〇m			100%	120	0	
										測量試験費環境調査・地質調査																						100%	10	0	
										用地補償費用地買収・物件補償																			N=〇件			90%	30	3	
																						計	500	40											
																						計													
																						計													

